



開山親鸞聖人御誕生八百五十年  
立教開宗八百年 中興真慧上人五百年忌  
聖徳太子千四百年忌

**2023年 奉讃法会 記念事業**  
**5月21日開館 燈炬殿**

聖人の教えを伝える法宝物を大切に守る収蔵庫。  
専修寺の思想・歴史・文化を見せる展示室。  
最新のデジタル技術で仮想現実を表現したVRシアター。  
古きも新しきも体験し、未来を夢みることができる宝物館ができました。(6月より有料)



### お七夜報恩講にお出かけください

お七夜とは御開山親鸞聖人の御命日に合わせて勤められる法会で報恩講と言います。毎年一月九日から十六日の八日間勤められ夜が七回あることからお七夜と呼ばれております。報恩講は慶事の意味があります。遇い難い念仏の教えに遇わせていただいた恩に報い、感謝と喜びをあらわす仏事だからです。期間中は国宝の御堂にも負けない荘厳な高田声明が響き渡り、様々なイベントと共に町全体が活気に溢れて賑わいます。是非お参りください。

### 高田本山ガイドツアー

土日祝限定 13:30～ 先着20名様  
お一人様500円(中学生以下無料)  
受付:総合案内所

二つの国宝建築物、四つの重要文化財建築物と各所に施された精巧な彫刻、装飾をボランティアガイドが詳しくご案内します。



### 茶所・寺カフェ蓮心庵

営業時間:10:00～15:00

高田本山オリジナル商品、仏具、地元産品のお土産などを多数ご用意しております。蓮の実ぜんざい、コーヒーなど、境内を眺めながら過ごすひととき。参拝後の休憩に、ぜひお立ち寄りください。



### 蓮オーナー募集 高田山 蓮の会

会費:1口10,000円

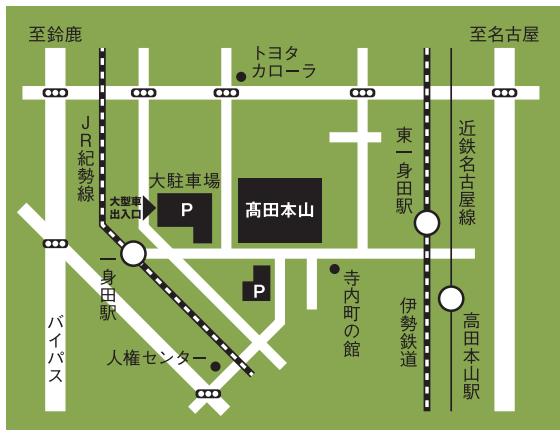
境内には6月中旬から8月中旬にかけて見頃を迎え、極楽浄土に咲くといわれる蓮の花約35品種1,000株を鉢で栽培しております。鉢前に芳名札の設置や会員限定の特別拝観など様々な特典を用意しております。



法事会席 **3,000円～** ご予約承っております **あかり屋**  
多気町特産伊勢芋とろろや鰻料理など取り揃えております。

**高田会館** レストラン 和彩 **AKARI**  
〒514-0114 三重県津市一身田町2819番地(高田本山敷地内蓮池前)  
**TEL059-232-6079 FAX059-231-2654**  
予約受付時間 10:00～16:00  
お食事:11:30～14:00(夜は予約制) 定休日:月曜日

### access map



|     |                                                  |
|-----|--------------------------------------------------|
| 電車  | JR一身田駅徒歩約5分<br>近鉄高田本山駅徒歩約20分<br>津駅からタクシーで約10分    |
| バス  | 津駅東口発、本山前下車で約30分<br>一身田、または三重病院行きに乗車             |
| 自動車 | 伊勢自動車道 芸濃ICより約15分、津ICより約15分<br>国道23号線 栗真中山町より約5分 |



〒514-0114 三重県津市一身田町2819番地

宗務院 TEL059-232-4171 FAX059-232-1414  
総合案内所 TEL059-232-7234 FAX059-232-6112

<http://www.senjuji.or.jp>



壮大な伽藍を前にして  
こころは仏法の世界へ

高田山  
専修寺

## 親鸞聖人と 専修寺

親鸞聖人坐像 県文化財指定  
この像は親鸞聖人の肖像画「安城の御影」(西本願寺所蔵)を元に作られた坐像で、「大谷最初の御影」と言い伝えられています



親鸞聖人は、関東各地を御教化中に、明星天子の夢のお告げを得て、五十四歳のとき下野国(栃木県)芳賀郡二宮の郷(真岡市)の地に一字を建立し、専修念仏の根本道場とせられました。ご本尊には、長野の善光寺からお迎えした一光三尊仏を安置し、聖人門弟の中のリーダーであった真仏上人が管理に当たられました。

ここを中心とした教団は、関東各地の檀信徒の中で最も有力な教団となり、京都へ帰られた聖人からは、しばしば自筆のお手紙や、ご自分で書き写された書物などが送られて来ました。その後、高田教団は次第に発展し、専修寺は「本寺」と呼ばれて全国から崇敬を集めるようになりましたが、それを一段と飛躍させたのが第十世真慧上人で、東海・北陸方面に教化を拡げると共に、朝廷の尊崇を得て、専修寺は皇室の御祈願所ともなりました。

一身田の専修寺はその真慧上人が伊勢国内の中心寺院として建てられたものですが、関東の本寺が兵火によって炎上したりしたため、歴代上人がこちらに居住されるようになって、ここが本山として定着しました。一身田専修寺の伽藍も二度の火災に遭いましたが、立派に再建され、檀信徒の崇敬はますます高まりました。聖人の数多いご真筆類は、今も大切に伝持され、教団の誇りとなっています。



阿弥陀如来立像  
如来堂本尊  
快慶作、国指定重要文化財  
雲の上の蓮台に立つ  
阿弥陀如来の像です



# 高田山 専修寺

## 参拝のご案内

高田山専修寺は親鸞聖人の開かれた真宗高田派の本山で、境内には国宝木造建造物で5番目の大きさを誇る御影堂と、彫刻が素晴らしい如来堂の他、11棟の国指定重要文化財が建ち並びます。



### 雲幽園・安楽庵

うんゆうえん・あんらくあん

ほとんど石組を作らず、自然の美をそのままに生かした庭園です。独特な構造で格式高く、茶席は江戸時代初期の名席。

### 通常非公開

団体参拝での見学は総合案内所にお尋ねください



©星野佑佳

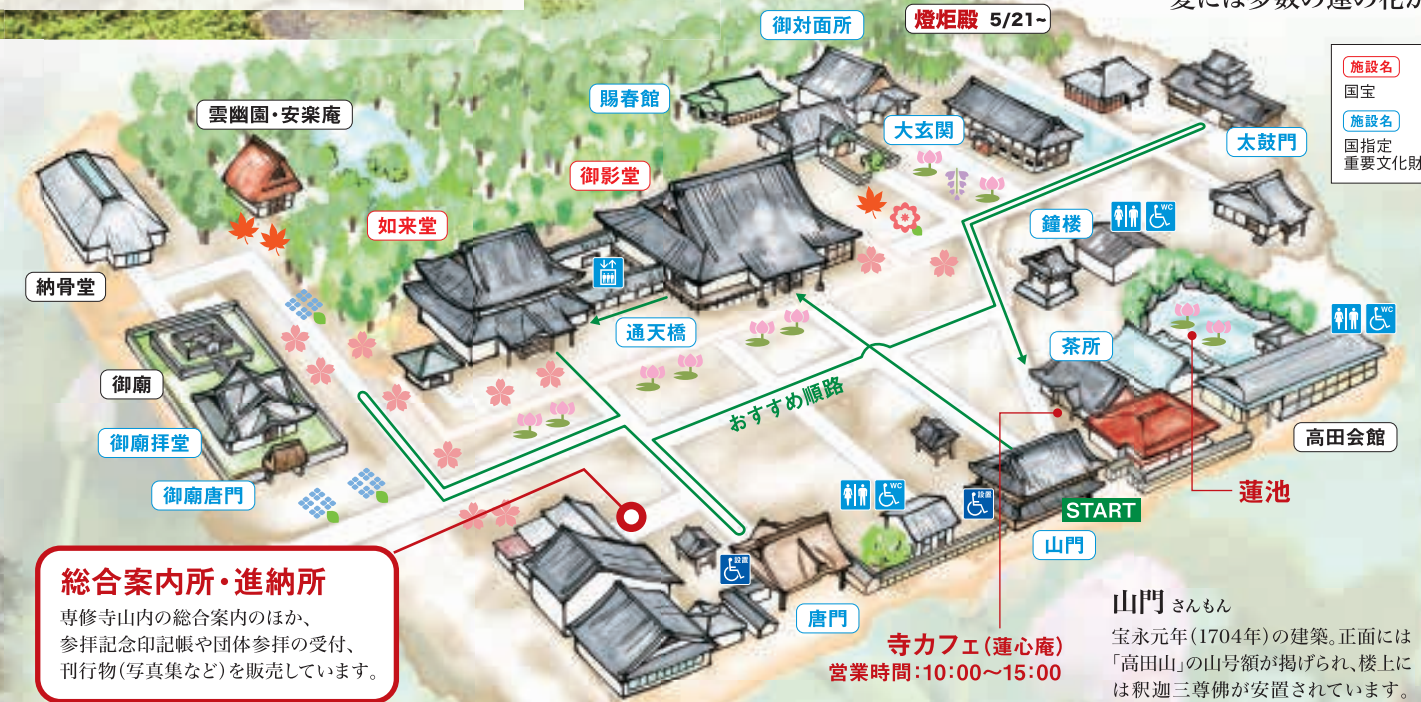


©星野佑佳



## 親鸞聖人のお念仏を今に伝え、蓮の花が咲き誇る古刹

夏には多数の蓮の花が咲き誇り、桜、藤、牡丹、紅葉など四季を通じてお楽しみください



### 総合案内所・進納所

専修寺山内の総合案内のほか、参拝記念印記帳や団体参拝の受付、刊行物(写真集など)を販売しています。

### 御廟・御廟拝堂

ごびょう・ごびょうはいどう

寛文12年(1672年)に親鸞聖人の御歯骨5粒を納めて造られた廟です。



### 唐門

からもん

天保15年(1844年)の建築。扉中央の大きな菊花紋を始め、華麗な彫刻が特色です。



### 山門

さんもん

宝永元年(1704年)の建築。正面には「高田山」の山号額が掲げられ、楼上には釈迦三尊佛が安置されています。



※ライトアップはお七夜期間中(1/9~15)のみ

ご案内 蓮 牡丹 紫陽花 桜 紅葉 藤

### 太鼓門

たいこもん

最上階に大太鼓が吊るされている門。かつては、この太鼓が町の人々に時刻を知らせていました。

### 鐘楼

しょうろう

梵鐘は「慶安5年(1652年)鑄造」

御堂での勤行前に撞かれます。



### 通天橋

つうてんきょう

寛政12年(1800年)の建築。如来堂と御影堂を結ぶ橋です。

※ライトアップはお七夜期間中(1/9~15)のみ



### 国宝 御影堂

みえいどう

寛文6年(1666年)の建築。御開山 親鸞聖人の木像を安置する780畳敷という全国屈指の大御堂です。(写真:奥)

### 国宝 如来堂

にょらいどう

寛延元年(1748年)の建築。「証拠の如来」と呼ばれる阿弥陀如来の木像が安置されています。(写真:手前)

